

文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校

東京都立 立川高等学校

探究活動パンフレット



TACHIKO
Super Science High School

立高のSSH

「立高から世界へ」

～新たな時代を切り拓き
たくましく

本校は2018年に文科省より新たな時代を切り拓く科学（略称SSH*）の指定を受けました。

「科学技術人材」というのは理系という狭い意味では把握し、自然科学やテクノロジーを理解・活用して、新以下の4事業を柱に、立川高校のSSHプログラムは構SSHとして、普通科・創造理数科、どちらも課題研究創造理数科は、これまでのSSHプログラムをより深化

国際社会で 活躍する科学技術人材の育成」

技術人材を育成するスーパーサイエンスハイスクール

なく、急速に進化する未来の科学技術情報社会で課題をたな世界を切り拓く力を持つ人材と考えています。成されています。

を軸としたプログラムを実施します。させた取り組みを行います。

論理的思考や
探究の方法を学ぶ

課題研究

表現力や発信力、
国際性の涵養を目指す

英語教育

理科4科目、地歴3科目、
公民科目を含めた
全科目を幅広く学び、
知の土台を作る

教養教育*

視野を広げ
知力を深める

本物体験

*教養教育（教科教育）
「学校案内」をご覧ください

普通科・創造理数科 ロードマップ



カリキュラム表 (教養教育)

普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
第1学年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	生物基礎	地学基礎	体育	保健	芸術Ⅰ ※1	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	SS課題研究Ⅰ	SS課題研究Ⅰ	総合	H	R																
第2学年	文学国語演習Ⅰ	古典探究演習	日本史探究	世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	数学C	物理基礎	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	SS課題研究Ⅱ	SS課題研究Ⅱ	H	R																	
第3学年 (文系)	文学国語演習Ⅱ	古典探究演習	※2	【必修選択】 (日本史探究演習α・ 日本史探究演習β)・ (世界史探究演習α・ 世界史探究演習β) から1組選択	※3	※4	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	【自由選択】	H	R																								
第3学年 (理系)	国語探究	【必修選択】 数学Ⅲ、 数学ⅠAⅡBC演習 から1科目選択	【必修選択】 (物理・理系物理)・ (生物・理系生物) から1組選択	【必修選択】 (化学・理系化学)・ (地学・理系地学) から1組選択	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	【自由選択】	H	R																										

創造理数科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
第1学年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	理数数学Ⅰ	理数数学Ⅰ	理数数学Ⅱ	理数物理	理数化学	理数生物	理数地学	体育	保健	芸術Ⅰ ※1	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	理数探究基礎	SS課題研究Ⅰ	SS課題研究Ⅰ	総合	H	R													
第2学年	文学国語演習Ⅰ	古典探究演習	公共	理数数学Ⅱ	理数数学特論	理数化学	【必修選択】 理数物理、理数生物、理数地学 から2科目選択 (1科目4単位)	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	理数探究	H	R																					
第3学年	国語探究	国語演習	理数数学Ⅱ	理数数学特論	理特数講数学Ⅰ	【必修選択】 理数物理特講、理数化学特講、 理数生物特講、理数地学特講 から2科目選択 (1科目3単位) ※5	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	理数探究	SSコミュニケーション	【自由選択】	H	R																						

※1 【必修選択】音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰから1科目選択
 ※2 【必修選択】地理探究、倫理、政治・経済から1科目選択
 ※3 【必修選択】数学ⅠA演習α、数学ⅠA演習βから1科目選択
 ※4 【必修選択】文系物理基礎演習、文系化学基礎演習、文系生物基礎演習、文系地学基礎演習から2科目選択
 ※5 第2学年までに5単位を履修した科目 (理数物理、理数化学、理数生物、理数地学) から2科目選択



課題研究

各自の興味・関心をもとにテーマを設定して研究を行います。
「思考力」「判断力」「表現力」「研究手法」「研究倫理」「研究への粘り強さ」
等を系統的・体験的に学びます。

これらの活動を通して……

- 探究活動の「方法」を学びます！
- 自身の問題意識を深め、進路選択に役立てます！
- 実践的な知力の育成を促します！
- 文理に関わらず、社会問題を主体的に解決していくための力を育てます！
(グローバルリーダー／イノベーターとしての素養の育成)
- 2～3年次では、研究要綱の英文化や外部発表会に向けた研究の総括を行います。
- 目指せ！学会、コンテスト、SSH研究発表会！

理系はもちろん、文系の生徒も活躍！何をやるかは君次第！

本校の課題研究活動の大きな目標は、研究を通して将来必要になる力を獲得すること。
その目標に向けて、体系的なプログラムと充実した体制を整えています。

全体の流れ

	普通科	創造理数科
1年生 4月～10月	<ul style="list-style-type: none"> ● オリエンテーション ● 分野別ワークショップ ● ミニ探求「多摩の探求」 	<ul style="list-style-type: none"> ● オリエンテーション ● 分野別ワークショップ
1年生 10月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ● ゼミ選択 ● テーマ設定 ● 研究 	<ul style="list-style-type: none"> ● ゼミ選択 ● テーマ設定 ● 研究
2年生 4月～10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究 ● 研究要綱（日本語）執筆 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究 ● 外部発表への準備
2年生 10月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究の仕上げ ● 後輩指導 ● 要綱（英語）執筆 ● ポスター作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究 ● 外部発表 ● 研究要綱（日本語）執筆 ● ポスター作成
3年生	【自由選択科目】	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究の仕上げ ● 外部発表 ● 研究要綱（英語）執筆 ● ポスター作成

課題研究のゼミ設置例（令和3年度）

【1年生】

- 科学技術応用 ● 化学・薬学・環境系 ● 生物学系
- 地学・環境・人権系 ● 物理学系
- 数学・情報工学・統計学系 ● 社会学系
- 政治・経済・法学系 ● 文学・言語学系
- 歴史学系 ● 芸術系 ● 身体・運動・スポーツ系

【2年生SSHコース】

- 数学・統計学系 ● 物理学系 ● 化学系 ● 生物学系
- 地学系 ● 情報・科学技術応用系

【2年生一般コース】

- 社会的な問題を文系・理系双方の視点から
グループで課題解決

テーマは色々!!





英語教育

本校では、「グローバルリーダー」の育成を目指し、実践的な英語力を伸ばすための体系的なプログラムを用意しています。

これらの活動を通して……

- 課題研究の英語プレゼンテーション・英語での質疑応答に挑む！
- SSH海外交流（台湾台北市立松山高級中学（Taipei Municipal Song Shan Senior High School）の生徒とのオンライン交流）を通して、課題研究のプレゼンテーションを行える英語力をつける！
- SSH海外研修（米国カリフォルニア大学サンディエゴ校・カリフォルニア工科大学）での、研究発表に耐える英語力をつける！
- 課題研究の論文の英語化をする！

完全発信型 Science English の体系的なプログラムを準備！

ノンネイティブの英語話者が世界の現場で勝負するための英語力を鍛える！
ネイティブ英語教員と日本人英語教員による完全TT授業

【Presentation】

- 1) Narrative Text（物語） / Demonstrative Text（説明）の2種類のプレゼンテーション技術修得のためのトレーニングを行う
- 2) Global Warming / Biodiversity / Povertyなどのテーマを科学的・社会的の2つの観点から読み、自分の意見を論理的に説明するトレーニングを行う
- 3) 英語でディベートを行う
- 4) 課題研究の概要を英語で説明する

【Writing】

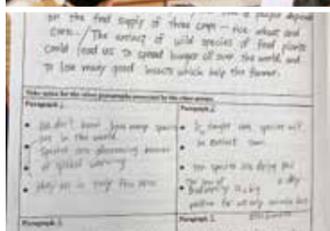
- 1) Topic / Explanation / Evidence / Link からなるTEEL Writing Styleを習得する
- 2) 課題研究を、Purpose / Problem / Method / Result / Conclusion の5steps からなる英文要綱にまとめる

【Research】

- 1) Science articles（科学英語論文）を読み、Science terms（科学系専門用語）と論文の論理展開を理解する
- 2) 一つのarticleをさまざまな角度から検証する
- 3) 自分の意見の根拠となるarticleを検索する

【Critical Mindset】

- 1) Questioning articles（記事を疑う）
- 2) Making questions（質問を作る）
- 3) Analyzing contents（内容を分析する）
- 4) Confuting（反駁する）





SSH企画

皆さんの知的好奇心を刺激し、
視野を広げる体験や探究的な活動を用意しています。
フィールドワークや実験実習体験、講演会、天体観望会、
大学や研究所の訪問や企業訪問など、
様々な体験により、世界を広げて下さい。

SSH海外研修

カリフォルニア大学サンディエゴ校やカリフォルニア工科大学での研究発表をメインとした海外研修旅行や、フィールドワーク実習旅行を行います。英語教員やALTとの事前学習を行い、現地では自分の課題研究について発表したり、ディスカッションをしたりしました。留学生との交流で触発され、進路を決めるきっかけができたりと、大きな刺激を受けてきました。サイエンスセンターやグリフィス天文台を見学したり、本校OBの家に招かれて交流の時間を持てたことも楽しい思い出でした。



SSH国際交流



本物体験!





科学系部活の活動

本校は、運動部や音楽系部活だけでなく、科学系部活や文系部活が多数あり、それぞれ活発に活動していることが特徴です。SSHになって理数好きの生徒が増えたのか、化学部 生物部 天文気象部 物理部 パソコン部 数学研究同好会 などの科学系部活の部員数は、現在100名を超えています。興味を持っている皆さん、ぜひ立高へ！

研究発表やコンテスト

科学系部活やSSHクラス生徒を中心に、様々な外部の研究発表会や学会、科学オリンピックなどに挑戦しています。全国レベルの大会で最高位の賞を得た生徒、科学オリンピックで全国大会に進み賞を得た生徒もいます。研究者や他校の高校生と交流することで新たなアイデアを得、研究が深化します。挑戦してみませんか。



物理部の実験



物理部 科学の祭典に企画を出展



生物部 ムササビに会いに



化学部・生物部フィールドワーク



パソコン部



数学研究同好会 数学オリンピックへ



立川市小中学生向け理科教室



天文気象部 親子天文教室



天文気象部 黒点観測講座

SSH4年間の発表・受賞歴

- 生物学オリンピック (全国大会銅賞・世界大会代表)
- 全国高校生文化祭自然科学部門 (地学最優秀賞 (全国1位))
- 情報処理学会中高生情報学コンテスト (最優秀賞 (全国1位))
- 高専高校気象観測機器コンテスト (最優秀賞 (全国1位)・優秀賞・代表理事特別賞)
- 全国SSH研究発表会 (審査委員長賞・奨励賞)
- 読売新聞日本学生科学賞全国大会 (最終審査1等入選)
- 朝日新聞JSEC科学技術チャレンジ (ファイナリスト優秀賞)
- JpGU地球惑星研究連合大会 (優秀賞・優秀ポスター賞)
- 東京都高文連理科学研究発表会 (地学：最優秀賞・優秀賞・会長賞)
- 地学教育学会 (優秀賞 (全国1位))
- 地理学会 (理事長賞)
- 東京都科学の甲子園 (生物部門1位)
- 天文学会・気象学会・マングローブ学会
- 物理チャレンジ・数学オリンピック・地学オリンピック
- Irago Conference国際学会 (電気通信大)
- 東京都SSH研究発表会・関東SSH研究発表会
- 高大連携研究発表会 (東京大)
- 高校生理科発表会 (千葉大)
- 戸山高校研究発表会



発表の場での研究者とのやりとりはとて有意義な時間です。令和2年度以降はオンラインの研究会が増えました。

普通科と創造理数科の違い早見表

※創造理数科の赤い下線は普通科と違うところ

課題研究

	普通科	創造理数科
目的	①探究の方法を学ぶ ②論理的・批判的・協働的思考を実践する ③説明する力(読解力・論実力・表現力)を身につける ④学びに向かう力を育む	①探究の方法を学ぶ ②論理的・批判的・協働的思考を実践する ③説明する力(読解力・論実力・表現力)を身につける ④学びに向かう力を育む ⑤外部発表会を目標にした高度な研究活動
実施方法	1年生:SS課題研究Ⅰ(1単位・必修) 2年生:SS課題研究Ⅱ(1単位・必修) 3年生:SS課題研究Ⅲ(1単位・自選)	1年生:理数探究基礎(1単位・必修) 2年生:理数探究(2単位・必修) 3年生:理数探究(2単位・必修)
内容	【1年4~10月】 ・オリエンテーション/各種講演会 ・分野学習ワークショップ ・ミニ探究 ★10月に校内発表会 【1年10~3月】 ・ゼミ選択→テーマ設定→研究 ★3月に校内発表会 【2年4~10月】 ・研究の続き ・論文(レポート)/要綱の執筆開始(2学期以降) ★10月に校内発表会 【2年10~3月】 ・研究の仕上げ(他の人との「ソーシャルアクション」もあり) ・論文(レポート)/要綱(日本語・英語)の仕上げ ・ポスターの作成 ・後輩指導 ★3月に校内発表会	【1年4~10月】 ・オリエンテーション/各種講演会 ・分野学習ワークショップ ・分野決定 ★10月に校内発表会 【1年10~3月】 ・ゼミ選択→テーマ設定→研究 ★3月に校内発表会 【2年4~10月】 ・研究の続き ・外部発表会への準備 ★10月に校内発表会 【2年10~3月】 ・研究の続き ・外部発表 ・論文(レポート)/要綱(日本語)の執筆開始 ・ポスターの作成 ★3月に校内発表会 【3年】 ・研究の仕上げ ・外部発表 ・論文(レポート)/要綱(日本語・英語)の仕上げ ・ポスターの作成

本物体験

	普通科・創造理数科共通	創造理数科
目的	①自身の素養の幅を広げる ②自身の興味を専門的に掘り下げる ③研究者としてのロールモデルを学ぶ	①自身の素養の幅を広げる ②自身の興味を専門的に掘り下げる ③研究者としてのロールモデルを学ぶ ④STEAM教育を目指すべく、校外の人材と交流する
実施方法	多種多様なSSH企画の実施(任意・不定期。年10個以上実施。) 各大学の公開講座等への参加(任意・「人間と社会」と連動)	1年次~2年次にかけて、創造理数科全員を対象とした各種の企画を実施する。
内容	以下のような企画を実施 ・城ヶ島フィールドワーク ・極地研究所訪問 ・つくばサイエンスツアー ・生物学シンポジウム ・留学生企画 ・天体観望会 ・情報講演会 ・立川断層フィールドワーク ・高尾山フィールドワーク ・野鳥観察フィールドワーク など 外部講師を招聘をはじめとする学校の機関と連携する企画が多くを占める	以下のような企画を実施 【1年生】 ・八丈島フィールドワーク研修旅行(2泊3日)→《生物・地学/探究》 ・全体を感じる企画→《Arts》 ・三宅島フィールドワーク(3泊4日・任意)→《生物/探究》 ・大学・企業訪問→《ロールモデル》 ・データサイエンス講演会→《情報/Science,Technology・探究》 ・海洋物理学講演会→《物理/Science,Engineering・探究》 ・情報分野講演会→《情報/Science,Technology・探究》 ・生物分野講演会→《生物/Science,Engineering・探究》 ・農学関係の統計処理講演会→《物理/Science,Mathematics・探究》 【2年生】 ・デザイン×科学技術→《Arts,Technology,Engineering》 ・数学分野講演会→《数学/Engineering,Mathematics・探究》 ・文理融合講演会→《数学/国語/Mathematics,Liberal Arts・探究》 ・化学分野講演会→《化学/Science・探究》 ・地学分野講演会→《地学/Science・探究》 ・探究講演会→《論文執筆や発表について/探究》 【3年生】 ・外部発表に向けての指導・助言→《探究》

理念

	普通科	創造理数科
スクールミッション	主体的かつ創造的な学習への意欲を高め、論理的思考力・健全な批判力を養い、世界に発信できるリーダーとしての素養を獲得させます。物事を広い視野で多角的に捉え、全体最適化に向けて行動できる生徒、文理にこだわらない幅広い素養と情報活用能力等を高いレベルで活かし、新しいイノベーションを生み出す人材を育成します。	主体的かつ創造的な学習への意欲を高め、論理的思考力・健全な批判力を養い、世界に発信できるリーダーとしての素養を獲得させます。物事を広い視野で多角的に捉え、全体最適化に向けて行動できる生徒、文理にこだわらない幅広い素養と情報活用能力等を高いレベルで活かし、新しいイノベーションを生み出す人材を育成します。
グラデュエーションポリシー	○新たな時代を切り拓き、国際社会でたくましく活躍する人材としての素養をもつ ○高い志を抱き、その目標を実現できる知徳・体のバランスと真の学力をもつ ○自律的な行動ができ、人と関わる力や豊かな心と高い倫理観をもつ	○新たな時代を切り拓き、国際社会でたくましく活躍する人材としての素養をもつ ○高い志を抱き、その目標を実現できる知徳・体のバランスと真の学力をもつ ○自律的な行動ができ、人と関わる力や豊かな心と高い倫理観をもつ ○理数系分野の素養を深め、物事の本質を見極めようとする姿勢をもつ ○将来にわたって研究する科学的な人材としての基本的な資質と能力をもつ
カリキュラムポリシー	1 学習習慣の確立と自学自習の態度の育成を目指す学習指導 2 高い目標を掲げ、進路実現を図る進路指導 3 自主自律の精神を涵養する生徒指導 4 国際社会で活躍する科学技術人材を育成する探究活動指導	1 学習習慣の確立と自学自習の態度の育成を目指す学習指導 2 高い目標を掲げ、進路実現を図る進路指導 3 自主自律の精神を涵養する生徒指導 4 国際社会で活躍する科学技術人材を育成する探究活動指導
アドミッションポリシー	1 学業成績が極めて良好で、本校の【普通科】の教育課程を理解し、入学後も意欲的に学習に取り組むことができる生徒 2 難関国公立大学進学への意欲など将来の進路実現に向けて、高い志を掲げ、継続して努力することができる生徒 3 自らの行動に自覚と責任をもち、中学校において、学習と特別活動などを両立させてきた実績がある生徒 4 探究的な姿勢をもち、自ら課題を見付け、その解決策を見出すような取り組みができ、何にでも興味をもち、自分のこととして物事を捉えることができる生徒	1 学業成績が極めて良好で、本校の【創造理数科】の教育課程を理解し、入学後も意欲的に学習に取り組むことができる生徒 2 難関国公立大学進学への意欲など将来の進路実現に向けて、高い志を掲げ、継続して努力することができる生徒 3 自らの行動に自覚と責任をもち、中学校において、学習と特別活動などを両立させてきた実績がある生徒 4 科学分野に高い興味関心をもち、研究活動などの創造的な活動に意欲があり、外部の研究発表会などに積極的に参加することができる生徒

英語教育

	普通科	創造理数科
目的	①英語で情報を収集する能力を養う ②英語で情報を発信する能力を養う ③批判的に思考したり根拠を持って話したりする姿勢を身につける	①英語で情報を収集する能力を養う ②英語で情報を発信する能力を養う ③批判的に思考したり根拠を持って話したりする姿勢を身につける
実施方法	1年生:SSコミュニケーション(1単位・必修) 2年生:SSコミュニケーション(1単位・必修) SS海外研修(2年夏・任意)	1年生:SSコミュニケーション(1単位・必修) 3年生:SSコミュニケーション(1単位・必修) SS海外研修(2年夏・任意) 海外の高校生(台北市立松山高級中学校)との交流(2年・全員) 台湾への訪問(2年冬・任意)
内容	以下の内容を、1~2年の授業で行う 【Presentation】 1) Narrative Text / Demonstrative Text の2種類のプレゼンテーション技術のトレーニングを行う。 2) Global Warming / Biodiversity / Povertyなどのテーマを科学的・社会的の2つの観点から読み、自分の意見を論理的に説明するトレーニングを行う。 3) 英語でディベートを行う。 4) 課題研究の概要を英語で説明する。 【Writing】 1) Topic / Explanation / Evidence / Link からなるTEEL Writing Styleを習得する。 2) Abstract Writing 課題研究を、Purpose / Problem / Method / Result / Conclusion の5stepsからなる英文要綱にまとめる。 【Research】 1) Science article(科学英語)の読み方 Science terms と論理展開を理解する。 2) 一つのarticleをさまざまな角度から検証する。 3) 自分の意見の根拠となるarticleを検索する。 【Critical Mindset】 1) Making questions(質問を作る) 2) Question the articles(記事を疑う) 3) Confutation(反駁)技術を習得する。	以下の内容を、1・3年の授業で行う 【Presentation】 1) Narrative Text / Demonstrative Text の2種類のプレゼンテーション技術のトレーニングを行う。 2) Global Warming / Biodiversity / Povertyなどのテーマを科学的・社会的の2つの観点から読み、自分の意見を論理的に説明するトレーニングを行う。 3) 英語でディベートを行う。 4) 課題研究の概要を英語で説明する。 【Writing】 1) Topic / Explanation / Evidence / Link からなるTEEL Writing Styleを習得する。 2) Abstract Writing 課題研究を、Purpose / Problem / Method / Result / Conclusion の5stepsからなる英文要綱にまとめる。 【Research】 1) Science article(科学英語)の読み方 Science terms と論理展開を理解する。 2) 一つのarticleをさまざまな角度から検証する。 3) 自分の意見の根拠となるarticleを検索する。 【Critical Mindset】 1) Making questions(質問を作る) 2) Question the articles(記事を疑う) 3) Confutation(反駁)技術を習得する。 ・2年次にオンラインで課題研究に関する交流を台北市立松山高級中学校の生徒と行う ・英文要綱作成に関し、東京農工大学の大学院へ留学に来ている外国籍の院生(修士課程・博士課程)による指導を行う

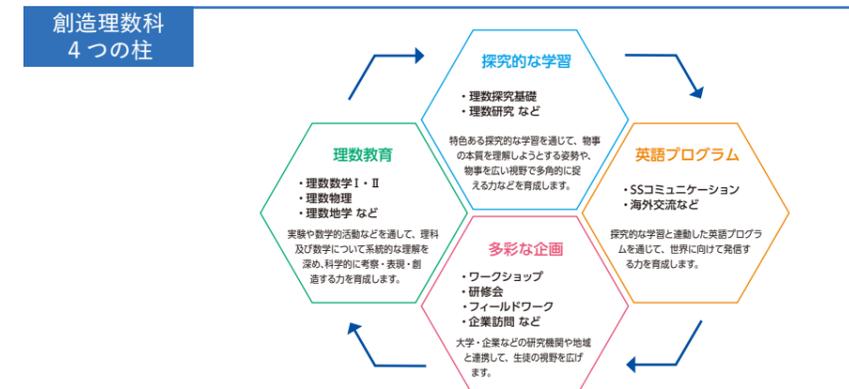
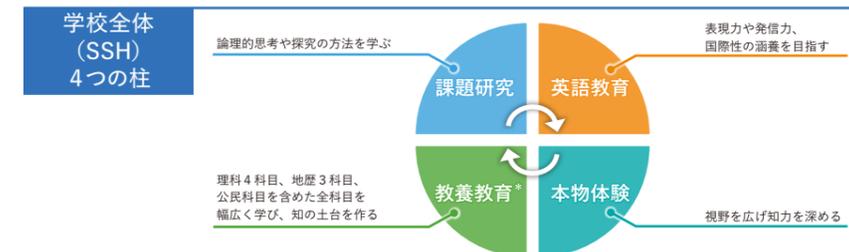
カリキュラム

	普通科	創造理数科
概要	幅広い進路希望を実現する教育課程。	理数系分野を軸とした教科横断的な学びを実現し、科学的思考力・判断力や創造性の育成を目指す教育課程。
違い	日本史探究・世界史探究等は普通科のみ設置。	専門教科「理数」を設置。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論、理数物理、理数化学、理数地学、理数探究等の科目を学ぶ。
内容の特色	・文理に関わらず、全員が物理、化学、生物、地学の理科4科目、地理総合、歴史総合、日本史演習、世界史演習の地歴科目を学ぶ、教養主義に基づいたカリキュラム。 ・3年次には自身の進路希望に応じて履修する科目を選択することができる。国公立大学進学を見据えたカリキュラム。	・1年次に物理、化学、生物、地学の理科4科目をすべて履修することで、自身の興味のある分野を考える機会を確保するとともに、理科に関して総合的な理解を深める。理数探究基礎で行う課題研究とも連動したカリキュラム。 ・「理数数学」については、一般的に行われる「数学Ⅰ」や「数学A」などと、学習順序が異なる配列になっている。「事象を数学的に考察し表現する基礎的な能力を養い、知識や技能などを的確に活用する態度を育てること」がねらいであり、探究活動や社会活動をより意識したものになっている(「学習指導要領」より)。また、理科の各科目とも連携して学習順序を学校独自で工夫している。 ・理科の単位数が多くなっている。また、3年生で数学の単位数が多くなる。国公立大学進学を見据えたカリキュラム。



写真は令和4年5月実施、創造理数科企画「八丈島フィールドワーク研修旅行」の様子

創造理数科開設の学校の理念
文系希望の生徒・理系希望の生徒という垣根を払い、普通科と創造理数科が協働する「新しい価値(イノベーション)を生み出すことのできる人材を育成する」学校





TACHIKO
Super Science High School



学校説明会・課題研究発表会等 実施予定

■入試問題説明会

事前申し込み：必要 ※詳細はWEBでお知らせします

7月9日(土) 14時～

12月10日(土) 14時～

■夏期見学会

事前申し込み：必要 ※詳細はWEBでお知らせします

8月16日(火)～18日(木)

■文化祭

※詳細はWEBでお知らせします

9月3日(土)・4日(日)

■学校説明会

事前申し込み：必要 ※詳細はWEBでお知らせします

10月8日(土) 14時～

11月12日(土) 14時～

■都立高校等合同説明会

事前申し込み：必要 ※詳細はWEBでお知らせします

11月6日(日)

■課題研究発表会

※詳細はWEBでお知らせします

10月8日(土) 3月23日(木)



JR中央線・南部線・青梅線
立川駅・南口より徒歩8分

多摩都市モノレール
立川南駅より徒歩6分
柴崎体育館駅より徒歩5分

立川高校ホームページ

<https://www.metro.ed.jp/tachikawa-h/>



東京都立立川高等学校

〒190-0022 東京都立川市錦町2丁目13番地5

TEL 042-524-8195 FAX 042-527-9906



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。